

旧宇賀小学校施設を活用した 地域の元気づくり



写真
尾道松江線六宗川橋から見た甲奴町宇賀地区
旧宇賀小学校と桜【撮影：千葉宏治】

甲奴町宇賀地区の基礎情報【平成26年2月1日現在】

世帯数・・・152／1,147

人口・・・・・・331／2,711(男性:143 女性:188)

(高齢者数:51.7%)

甲奴町振興協議会連合会（自治組織）の運営体制

組織体制

甲奴町振興協議会連合会

本郷西野地区振興協議会

梶田福田地区振興協議会

小童地区振興協議会

宇賀地区振興協議会

上川地区振興協議会

施設管理・運営体制

ジミー・カーターシビックセンター

事務局長 1名 事務局員 2名

いこいの森弘法山

甲奴・小童・宇賀・上川
コミュニティセンター

上川体育館, プール

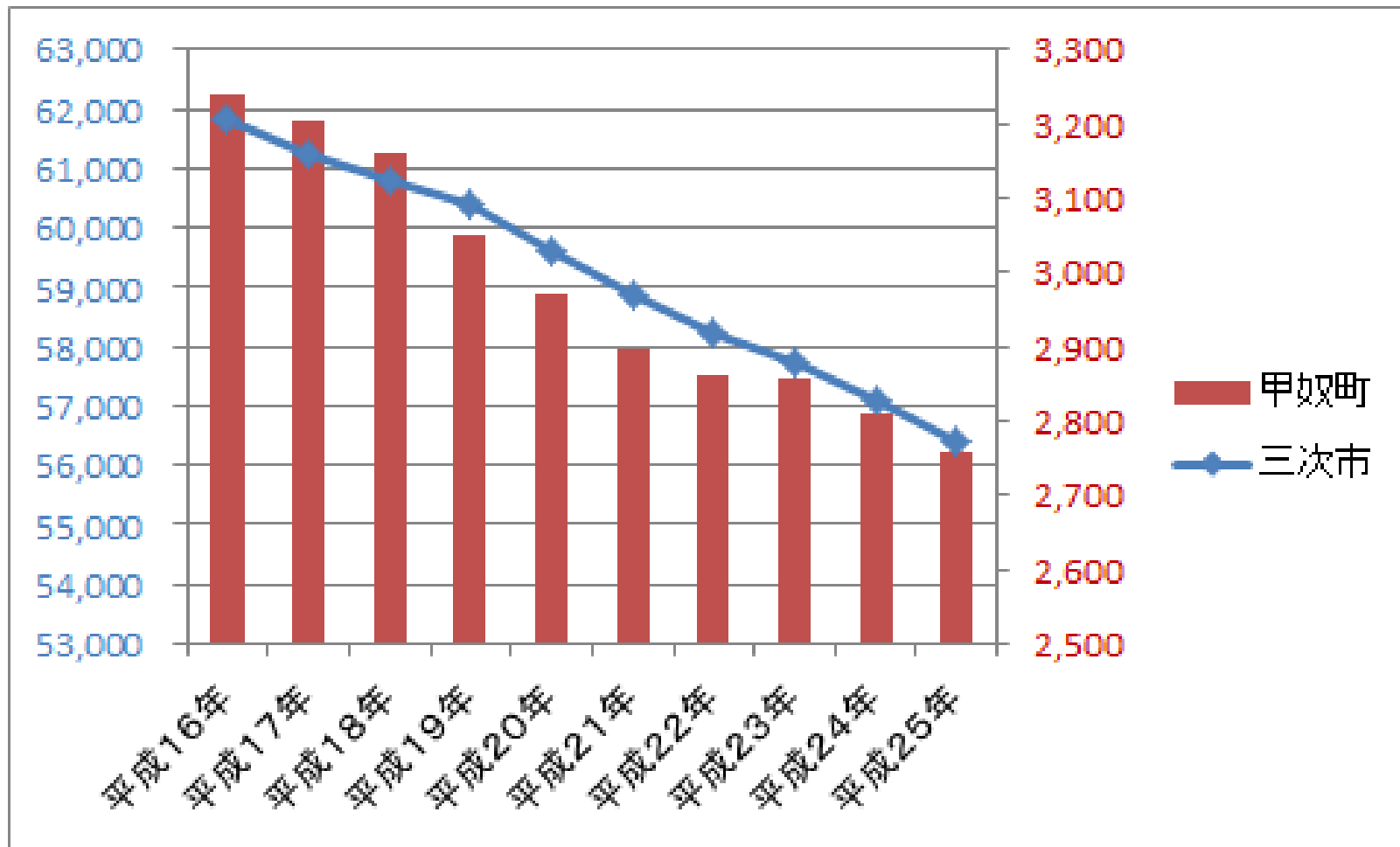
- ・コミュニティセンターは施設長を任命
- ・各地区振興協議会の事務局も兼ねる

宇賀の里(宇賀交流拠点施設)

地域の概要



地域の概要（人口推移）



甲奴町の特徴あるまちづくり

お寺の梵鐘が取り持つ縁で始まった国際交流



アメリカ合衆国第39代大統領 ジミー・カーター氏と想いと、地域の想いをつなげる継続的な取組を……



ホームステイ事業



ジミー・カーターシビックセンター(三次市甲奴町本郷)

甲奴町の特徴あるまちづくり

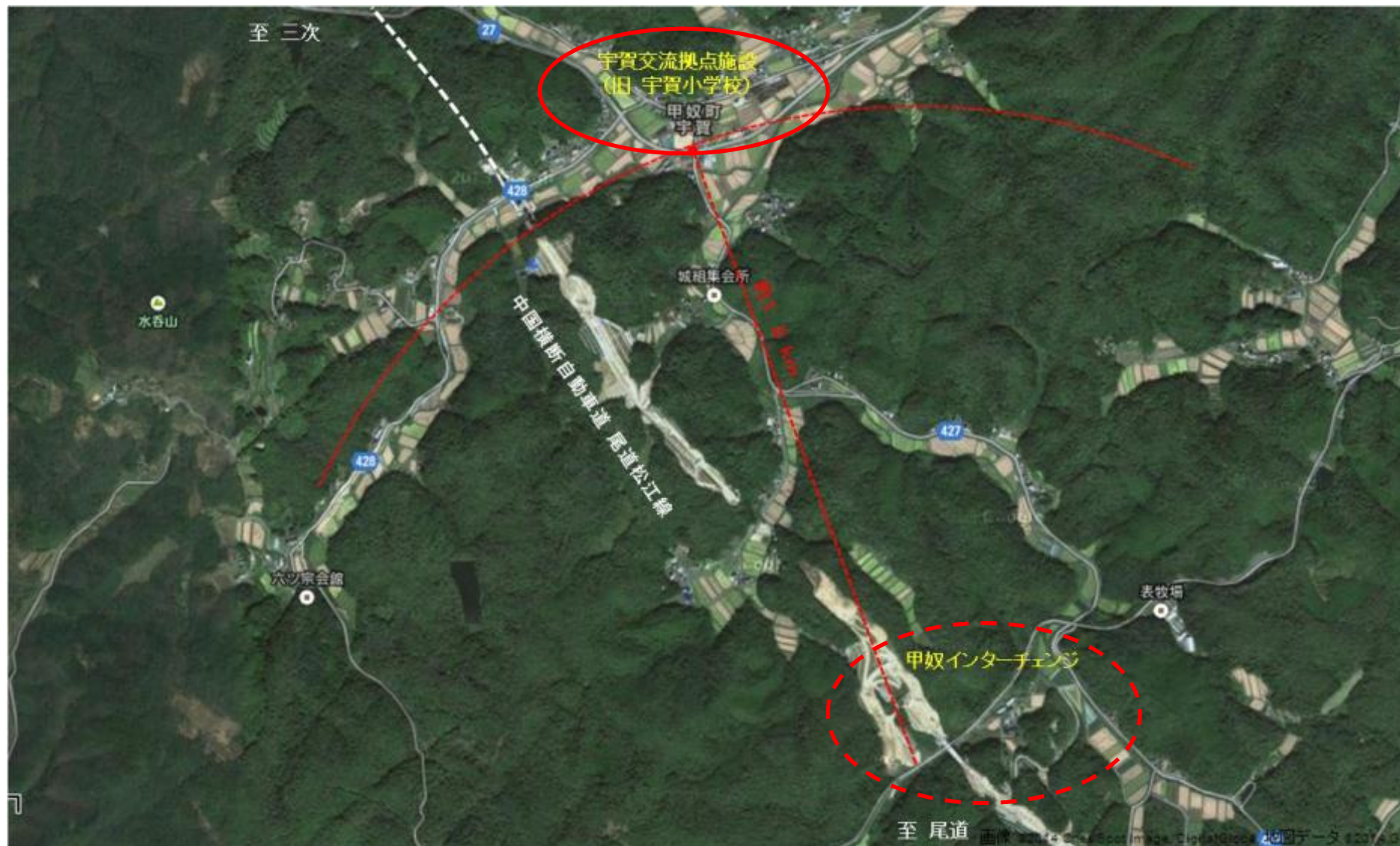


カーターピーナッツ収穫祭



書道パフォーマンス・カーター大会inこうぬ(書道パフォーマンス・カーター大会inこうぬ実行委員会)

尾道松江線開通を活かした「交流」と「地域振興」のさらなる促進



地域と行政の役割分担

宇賀地区振興協議会
(事業主体)

連携・協力

行政
(国・県・三次市)

地域の熱意

熱意の支援

役割分担、組織・運営形態の再構築

具体策の立案・企画→計画→実行→検証

共通のテーマ、コンセプトとビジョンづくり

人のつながり、絆づくり

新しいネットワーク化、組織化の形成

地域機能の再生

- まちづくりビジョンの共有
- 共通のルールの形成
- 地域拠点の形成

「共感」「決断」「行動」を持って、みんなで“手づくり”のまちづくり

跡地利用を検討



宇賀小学校 閉校

平成22年3月31日

保護者会より全校生の転校の協議

平成20年12月

休校方針の公開

平成21年 3月

閉校問題特別委員会

平成21年 3月

閉校問題特別委員会「跡地利用検討委員会」の発足

平成21年 6月

旧宇賀小学校施設利用実行委員会」の結成

平成22年12月

旧宇賀小学校改築工事完了

平成25年8月

『隣接する施設との一体的な活用策の展開』



宇賀コミュニティセンター(防災拠点)



甲奴地域資源加工センター
(木工体験)



旧宇賀小学校(地域づくり・交流拠点)



地域のコンビニ「みちくさの里」
(新鮮野菜市場)



甲奴町農産加工部(地元食材加工、おもてなし料理)



基本計画 地域の宝として再生 5つの柱



旧宇賀小学校



尾道松江線甲奴IC
(都市住民)

『甲奴の宝・みんなの学舎』

住みよい地域の拠点づくり
みんなの心の「よりどころ」

①内外との交流促進

②コミュニティビジネスの促進

③地域文化の継承

④生きがいと安心安全の確保

⑤コミュニティづくりの推進



「集い」
「ふれあい」

- ・宇賀地区振興協議会事務局
- ・高齢者・こどものサロン活動
- ・「若者」の集う事務所
- ・各種団体会議、地域イベント事業
- ・緊急避難所
- ・スポーツ広場



「学び」
「体験」

- ・各種文化サークルの振興
- ・民具、歴史資料、小学校の歴史展示
- ・体験交流事業の展開



「農」の
コミュニティビジネス

- ・新鮮野菜もぎとり市場事業
- ・周辺農地での農業体験事業
- ・イベントレストラン(地元食材)



地域一体の絆づくり



校庭の芝生化

事業展開 ～甲奴 I Cの活用を視野に入れた交流事業～



農業体験交流事業

2013.8.11



宇賀みちくさの里朝市
& 木工体験

2013.8.11



事業展開 ～甲奴ICの活用を視野に入れた交流事業～



うが収穫祭

2013.11.23



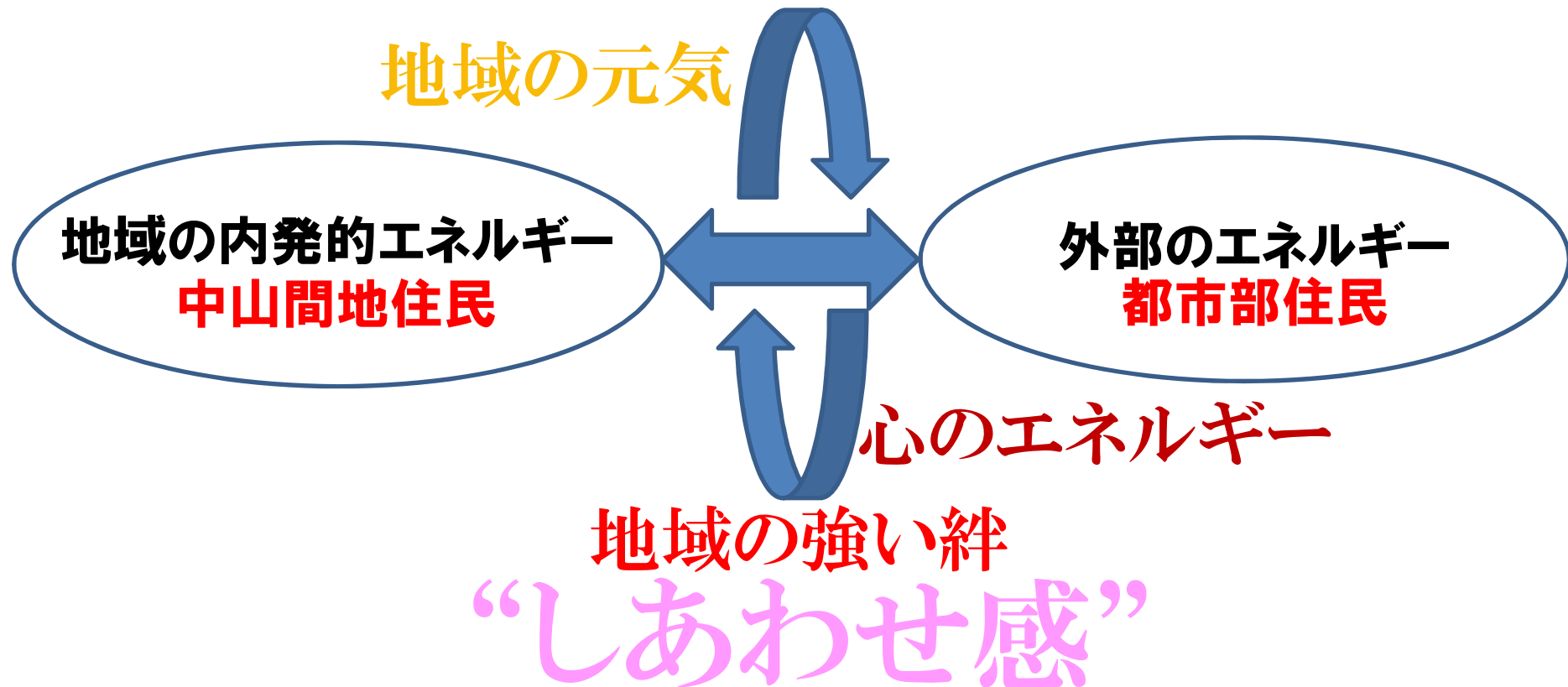
宇賀交流拠点施設
完成披露・年忘れの会

2013.12.15



今後の課題

- 交流事業の推進の際の、募集の手段
- 情報発信のあり方
- 後継者の育成
- 地域コミュニティの継続



今後の課題 ～中山間地域が元気になるために～

